

みんなが集い・楽しみ・安らぐ



M arine V World

わかさ大飯マリンワールド

海が
元気を
くれる
まち

福井県 大飯町

「わかさ大飯マリンワールド」は、優れた自然環境を最大限に生かした新しいまちづくりのかたちです。



大飯町長
時岡 忍

わかさ大飯マリンワールド計画は、昭和61年に運輸省港湾局が打ち出したコースタルリゾート整備構想を受けて検討が開始されました。

その後、近畿自動車道敦賀線の受け皿づくり及び残土処分地として注目を浴び、事業主体の一翼を担う第三セクター「わかさ大飯マリンワールド株式会社」が設立され、次の三つの柱をねらいに事業の具体化が図られました。

(1) 少子高齢化対策及び若者定住化促進のための魅力ある環境づくりとそれを支える基盤づくり

(2) 大飯町の優れた自然環境を最大限に生かした総合的開発

(3) 近畿自動車道敦賀線の早期着工・完成のための受け皿づくり、残土処分対策

平成8年の公有水面埋立免許取得後、順調に護岸整備及び埋立等の基盤整備工事が進捗してきました。平成14年度に基盤整備工事が完了、三つの柱のうちの一つは達成されています。

一方、整備計画については、その間の経済社会環境の変化に対応すべく、計画の見直しを進めてきました。このパンフレットは、新しい「わかさ大飯マリンワールド」の整備計画内容をお示しした資料です。

もとより、わかさ大飯マリンワールド計画は、大飯町のみの方力で実現することは困難です。国・県・町及び第三セクター、民間企業等が実現に向けて協力しあいながら進めていく必要があります。

PFI方式など、公共施設の整備や運営に民間の力を活用する新しい方式が生み出されつつあります。

そういった新しい方式の導入も視野に入れながら、実現性の高い計画を作成し、「わかさ大飯マリンワールド」という新しいまちづくりの実現へ向け努力してまいります。

計画の概要

本計画は、大飯町尾内の若狭湾・大島半島の美しい眺望が得られる海に直接面する、公有水面約22haを埋立造成し、海洋性レクリエーション基地とする計画です。

計画の目的

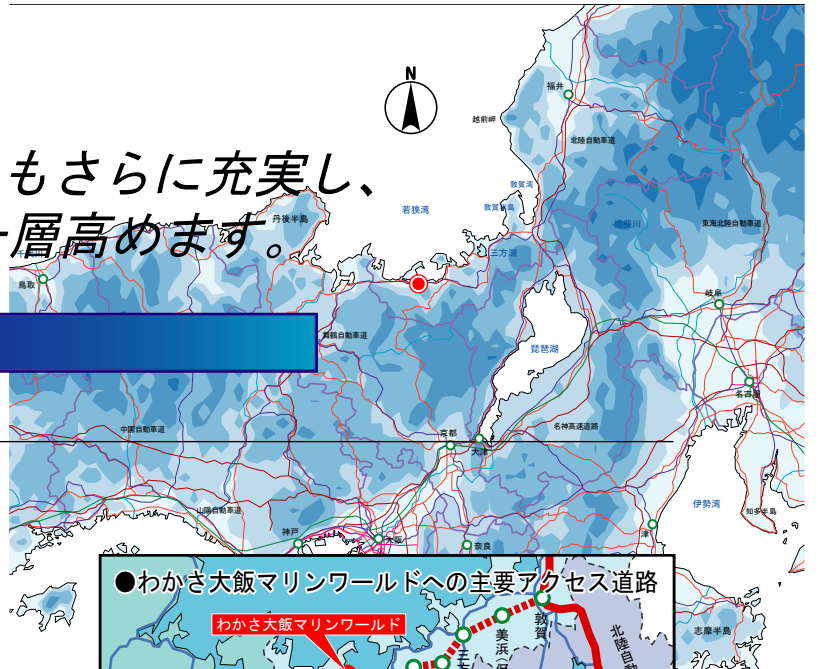
- 大飯町の有する、優れた自然環境を最大限に活かした総合的な観光リゾート開発を目指す。
- 目前に控える少子高齢化社会、更には若者の故郷離れの進展などに対して若者の定住化を促す魅力ある職場づくりや都市的環境の整備を図ることにより、高齢化社会を支える基盤づくりを目指す。
- 地域住民熱望の近畿自動車道敦賀線の早期着工、早期完成のための受け皿づくり、残土処分対策として位置付ける。

これまでの検討経緯

S61～	運輸省港湾局がコースタルリゾート整備構想の検討開始	H7. 1.30	NTT-A無利子融資事業認定(運輸省)
S63～	『和田港コースタルリゾート調査』開始(福井県、小浜市、大飯町)	H7.12.25	公有水面埋立免許願書提出
H1. 3	和田港コースタルリゾート調査報告書とりまとめ	H8. 3.15	大島漁業協同組合と漁業補償に関する協定締結
H3	コースタルリゾート研究分科会が事例研究に和田港コースタルリゾートを選出(運輸省)	H8. 3.21	公有水面埋立免許取得
H4. 7	コースタルリゾート研究分科会が「若狭マリンワールド構想」をとりまとめ	H8.12.20	わかさ大飯マリンワールド基盤整備工事起工式
H4.10	大飯町新総合計画で「和田港コースタルリゾート計画」を主要プロジェクトとして位置付け(大飯町)	H9年度	埋立開始(近畿自動車道敦賀線工事残土利用)
H5. 4	「和田港コースタルリゾート計画推進協議会」(大飯町民間サイドの組織)発足	H11年度	マリンワールド計画事業化ワークショップ発足
H5. 7	「和田岬コースタルリゾート計画第三セクター研究会」発足	H12年度	マリンワールド計画事業化ワークショップより基本プラン
H6. 3.25	第三セクター設立準備委員会発足	H13年度	埋立及び護岸整備工事の終了
H6.11.16	『わかさ大飯マリンワールド株式会社』設立(大飯町、福井県、企業15社で構成)	H14年度	排水路及び尾内川整備工事 完了



京阪神からの交通アクセスもさらに充実し、 まちの将来への可能性を一層高めます。



周辺環境条件（大飯町のポテンシャル）

● マリンレジャーに最適なリゾート開発

わかさ大飯マリンワールドは、眺望の美しい若狭湾に直接面した約22haの埋立造成地において計画されており、大飯町尾内に位置しています。また、計画地である若狭湾内は、潮位差が少なく波高が低いため、ヨット・カヌーなども楽しめるマリンレジャーに非常に適した立地と言えます。

● アクセス向上、どんどん身近に

右図は、舞鶴若狭自動車道及び京都縦貫道の開通延長経過を示したものです。舞鶴若狭自動車道は、昭和62年以降着実に延伸が行われ、平成15年3月には舞鶴東～小浜西間が開通し、大飯町内の坂本高浜線（主要地方道）と接続する「大飯高浜IC」が完成しました。また、JR小浜線が平成15年3月に電化開業されるなど、京阪神から大飯町を訪れる際の交通利便性がより一層高まっています。

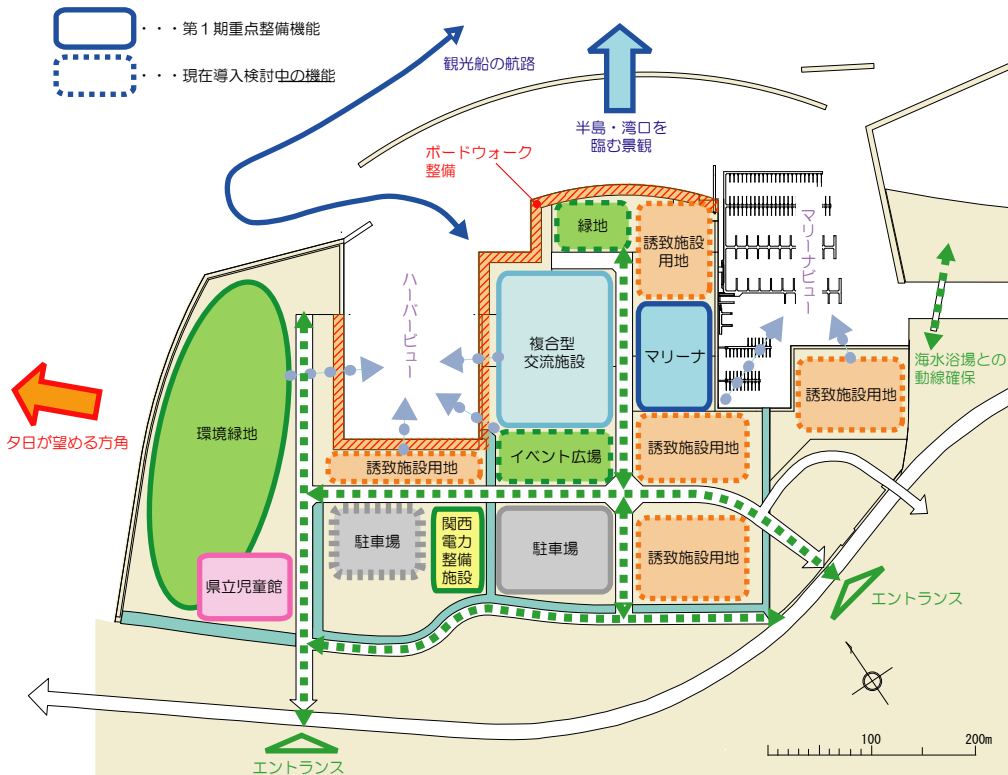


マリンワールドの土地利用計画

● ゾーニング計画（エリア全体の施設配置方針）

マリンワールドのエリア全体に関わる施設機能の配置方針としては、以下のような方針に基づくものとします。

- 第1期重点整備機能
- 現在導入検討中の機能



● 複合型交流施設（大飯町整備施設）について

・複合型交流施設は、観光船の発着場に近接し、ハーバービューの得られる中央部に配置し、イベント広場やマリナーとの連続性を確保する。

● 県立児童館配置について

・県立児童館は、エントランスとの近接性と、環境緑地を屋外施設として活用することを想定し、環境緑地の一部に配置する。

● 関西電力整備施設について

・関西電力整備施設は、第1期重点整備施設によるエリアの連続性を確保するために、県立児童館と複合型交流施設の中間部に配置する。

● 誘致施設用地について

・誘致施設用地は、現在導入機能の検討を行っている。当面は芝生広場等の暫定利用を行う。

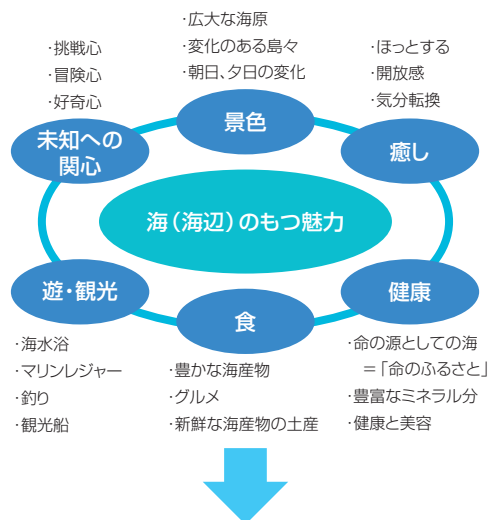
大いなる海の恵みと魅力をテーマに 元気なまちづくりが始められています。

計画の基本コンセプト

●新しいまちづくり

わかさ大飯マリンワールドは美しい日本海に面した自然環境豊かな立地であり、舞鶴若狭自動車道の開通に伴って京阪神からのアクセスが向上し、近隣地域から他府県まで多くの人々の来訪が可能となっています。

このような海（海辺）の魅力を満喫することができる、新しい条件を活かした総合的なまちづくりが望まれていることから以下の基本コンセプト及び4つの柱を設定し、計画します。



●基本コンセプト

みんなが集い・楽しみ・安らぐ

海が元気をくれるまち

～海をテーマとしたまちづくり～

海（海辺）のもつ魅力を最大限に引き出すこと
＝これが、「わかさ大飯マリンワールド」のテーマです。

●4つの柱

海をテーマとした

- 健康・癒しのまちづくり（健康増進施設、グルメ館、ホテルなど）
「生命のふるさと・母なる海」が育む新鮮な魚介類、ミネラル豊富な海水を活用し、来訪者に「癒し」「リラクゼーション」「リフレッシュ」を提供できるまちづくりを目指します。
- エデュテイメント^{*}なまちづくり（児童館、科学館、マリーナ、研修施設など）
海の楽しさ、力強さを直接体感することを通じて、来訪者が自然環境・いのちの大切さを、楽しみながら学ぶことができるまちづくりを目指します。
- 交流・感動のまちづくり（観光船、ショッピングモール、グルメ館、イベント広場など）
地域と世代の枠を超えて交流可能な「海辺のにぎわい・交流空間」としてしつらえ、来訪者が感動を共有できるまちづくりを目指します。
- 環境重視のまちづくり（階段護岸、環境緑地の確保、ボードウォークの設置、ランドスケープへの配慮、海水利用、水の循環利用）
周辺自然環境へ配慮（雨水の循環利用など）した創意工夫を凝らすことにより、来訪客により一層の感動を与えるまちづくりを目指します。

^{*}エデュテイメントとは、エデュケーションとエンターテイメントの合成語で、「楽しみながら学ぶ」ことを表しています。

●PFI手法^{*}の導入により、大飯町集客魅力施設の提供サービスの質を高めます。

現在、公共事業におけるVFM（支払いに対するサービスの価値）を高めるための事業手法として、民間事業者のノウハウ（建設・運営・維持管理など）を公共事業に効果的に活用することが可能なPFI手法が注目を集めています。大飯町集客魅力施設においても、民間事業者の運営ノウハウを効率的に活用することで、利用者に対してより魅力的なサービスを提供するため、PFI手法による事業化を前提として、今後詳細な検討を実施いたします。

^{*}PFI(Private Finance Initiative:プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

みんなが集い・楽しみ・安らぐ——
まちを訪れるたびに新しい発見に出会います。

わかさ大飯マリンワールドの施設概要



1 複合型交流施設

▶健康増進施設

- 「海水、海藻、海泥、海の大気」等を活用しての健康増進・リラクゼーション効果を利用者に提供するタラソテラピー（海洋療法）の概念を活用した施設です。
- 観光客だけでなく、地域住民のみなさんの日常的な癒し・健康管理の空間としてご利用いただけるような施設の整備を検討しています。
- 健康増進機能としては、アクアエクササイズ、浮遊浴、海藻・海泥パックなどの体験機能が考えられます。

▶研修宿泊施設

- マリンワールド内施設と連携した研修などの参加型プログラムと宿泊をセットにした施設です。
- 観光客に限らず、地域住民のみなさんの各種催事にもご利用いただけるような施設の整備を検討しています。

▶飲食・物販施設

- ウォーターフロントの特性を活かして、海辺の景色を楽しみながら、若狭の海産物を飲食・買い物のできる施設です。
- 若狭地域の特産品を扱い、若狭地域の産業・観光PRの情報発信を行えるような施設の整備を検討しています。

2 体験施設（関西電力整備施設）

- 最新のIT機器を活用した映像施設や原子力発電の仕組みを楽しみながら学べる施設などが検討されています。



3 マリーナ施設

- マリンワールドのシンボル施設であり、若狭湾における新たな海洋観光拠点となる施設です。
- 初心者も含めた利用者にマリンレジャーを楽しみながら学べる体験メニューを豊富に提供し、「海を活用したエデュテイメントなまちづくり」の実践の場として活用されます。



4 県立児童館施設

- 「子供が海・自然・環境に対する理解を深めること」を目標に、子供たちが遊びを通じて体力、想像力をはぐくむことができるような「遊びの空間」を提供します。
- 子育て支援・健全育成のための情報提供や研修講座の開催、保護者同士の交流の場の提供など、児童館が本来持つ機能を提供します。

海の元気を伝える自然との調和、環境への配慮が まちの隅々にまで息づいています。

マリンワールドの景観

●マリンワールドの景観形成基本目標

マリンワールド計画地周辺の地形的特徴や、導入される施設の特徴をふまえて、マリンワールドにおける景観形成基本目標を以下のように設定します。



●山や島、半島など地域固有の眺めを生かす

- マリンワールドは海辺の見通しのいい立地にあり、若狭を代表する山々への眺めが得られる特徴を有しています。
- 新たな地域の個性を作り出していくとともに、地域固有の山や島、半島の眺めを生かした景観形成を行います。

●ウォーターフロントの魅力を生かした景観づくり

- マリンワールドは、地域全体の活性化を目指した様々な集客施設が計画されています。
- 海辺の魅力的な景観演出により地域イメージをリードする景観形成を行います。

●人びとにとって魅力的なにぎわい空間の形成

- マリンワールドは、多くの人々が来訪し、交流しながら精神的な癒しが得られるようなまちづくりを目指しています。
- そこで、来訪者が快適な空間であると感じられるような、歩いて楽しい空間づくりなど、景観の魅力を活かした賑わい空間形成を行います。

●シンボルとなる新たな景観づくりと環境の調和

- マリンワールドは、若狭地域や大飯町にとって新たな活力を生み出す場所として期待されています。
- こうした新たなシンボルとしての役割と地域環境とのバランスを意識した景観作りを目指します。



青葉山への魅力的な景観



水辺への視線の確保

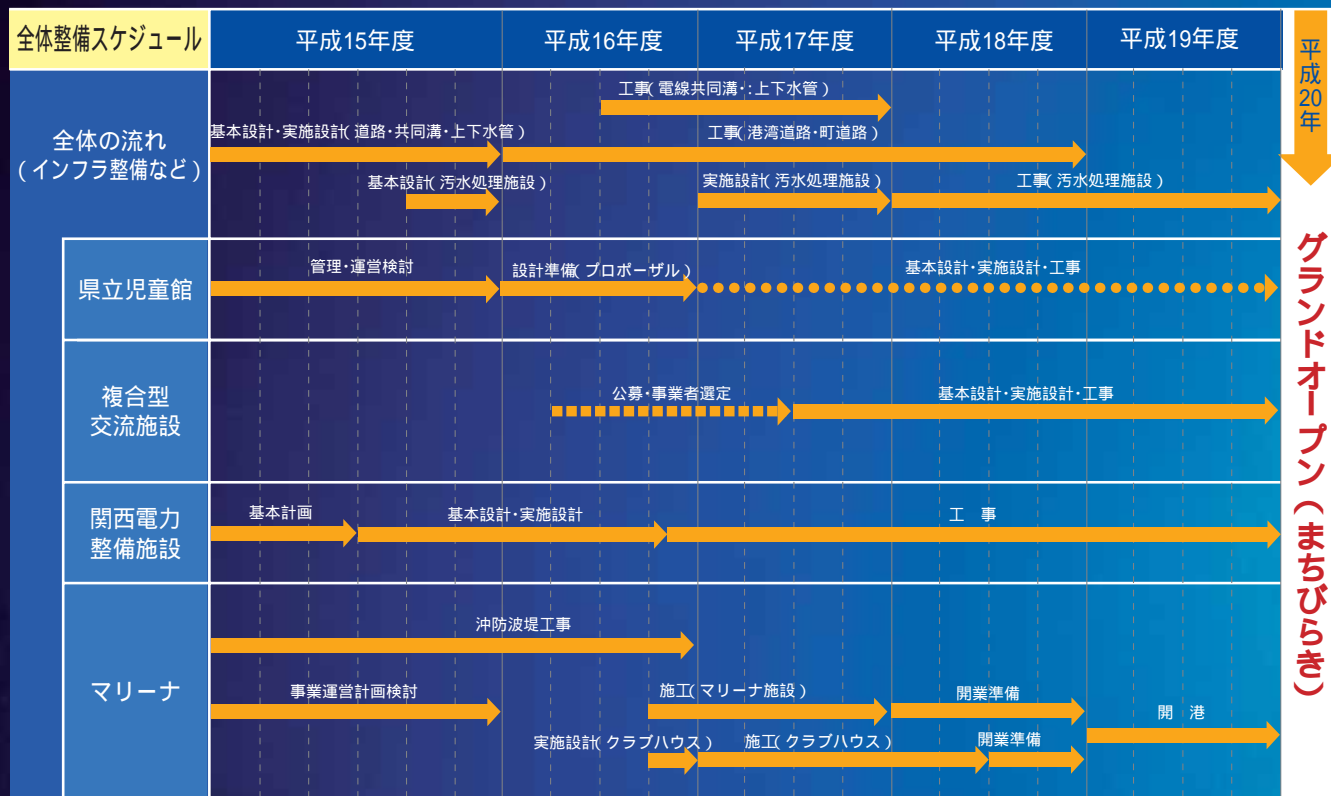


水際沿いの親水空間の演出



港らしさを演出するマリーナ景観

「わかさ大飯マリンワールド」は、平成20年のグランドオープンを目指して着々とまちづくりが進められています。



アクセス

各地からの所要時間

JR	大 阪	大阪 ▶ 敦賀 ▶ 若狭本郷	2時間40分
	名 古 屋	名古屋 ▶ 米原 ▶ 敦賀 ▶ 若狭本郷	2時間40分
	京 都	京都 ▶ 東舞鶴 ▶ 若狭本郷	2時間00分
	神 戸	三ノ宮 ▶ 京都 ▶ 東舞鶴 ▶ 若狭本郷	2時間50分
自動車	大 阪	吹田IC ▶ 大飯高浜IC ▶ 大飯町	2時間00分
	名 古 屋	一宮IC ▶ 敦賀IC ▶ 国道27号 ▶ 大飯町	2時間40分
	京 都	国道162号 ▶ 国道27号 ▶ 大飯町	2時間20分
	神 戸	神戸北IC ▶ 大飯高浜IC ▶ 大飯町	1時間55分

お問い合わせ先

大飯町役場総合開発室
 〒919-2111 福井県大飯郡大飯町本郷136-1-1
 TEL(0770)77-1111 FAX(0770)77-1289
 E-mail:soukai@town.ohi.fukui.jp
 ホームページ:http://www.inetpia.ne.jp

わかさ大飯マリンワールド株式会社
 〒919-2111 福井県大飯郡大飯町本郷159-8-1
 TEL(0770)77-2400
 FAX(0770)77-2402